

泌尿器科のかかりつけ医

神楽岡泌尿器科 渋谷 秋彦 院長

御にも注意してお過ごしただきたいと思えます。

子どもさんの成長における期間は、大人と比べて濃密で短いものです。あつという間にお子さんらは成長していきますね？大人が簡単に3年なんていいますが、中学高校含めてお子さんたちにとっての3年は、とっても中身の濃い多くの情報を含んでいたと思います。この遅れてしまった情報栄養の吸収を、これから頑張りたい欲しいと思っています。

3年にもわたるコロナ禍、大変な毎日が続いていますね。重症化する方々も少なくなり、諸々の制限がどんどん緩和されてきていますが、皆様お身体に気をつけて、感染防

はお子さんを見察する際は、一度マスクを取って自分の面をさらしてあいさつしてから、あらためてマスクをつけてお話を聞いたり触らせてもらったりするんです。病院では怖いことをされそうだし、医者の方先生は怖そうですものね。

コロナやインフルエンザなどの感染も怖いものですが、冬の乾燥、脱水もまた病気の原因となりま

す。泌尿器科でもお子さんが来られることは皆さんの想像以上に多く、親御さんも心配なことだと思います。今回は子どもさんの泌尿器科の問題についてお話しします。

1・頻尿、残尿感

お年寄りの方だけでなく、若い方でもこの症状で悩ん



るのに水分補給が少なかつたり、運動後や発熱のあと、起床時などの濃縮した尿が膀胱刺激の原因となることがあります。尿がしつかり溜まっていけないに無理に出そうといきんでも膀胱尿道の血行障害が起こり、同様の症状が出るのです。しっかりと水分補給をして、黄色い濃い尿ではなく、色の薄い透き通った尿をいさまずにリラックスして、気持ちいいオシッコを

子どもの泌尿器科について

して欲しいのです。特別な治療や投薬をせずに、改善するお子さんが多くいらっしゃいます。

2・亀頭包皮

男の子限定ですが、おちんちんが腫れて痛い訴えます。

包茎が原因で、亀頭と包皮の間に雑菌が繁殖すること、炎症くただれを引き起こします。包茎自体は大変な病気ではなく、大人になつてから対処できるものなのですが、包皮は男の子にとって不安ストレスの要因となりますので、ちゃんとおちんちんの清潔管理をさせることが重要となります。無理な剥き剥きや石鹸を付けてのごしごしは痛みを伴うので、やめましょうね。プールのあとの目の洗浄と同じとお話ししま



す。自分で(痛みの加減)が分かるからです)包皮をちよつとすつ剥いてみて、亀頭の頭を出します。

3・夜尿症

おねじよですが、小学校入学前になくなればよいです。親御さんご心配される代表的な子どもの病態ですが、時期が来ると収まるものです。

おねじよの原因は大きく2つに大別されます。膀胱容量が少ない(膀胱が小さい)か、夜間就寝中の尿量が多いかです。生活指導と膀胱訓練とでちゃんと良くな

ります。日中に十分、水分補給をすること(感染防御にもなりますよ)、晩御飯のあとは控えること、オシッコは十分に溜まってるから気持ちいいと感じてすることです。自然に膀胱容量が増え、夜間の口渇感がなくなりま

す。親御さんはあまり排尿をせかさなさいこと。お子さんの感覚を大事にしてあげてください。うまくいかないときにはお薬を出すこともあります。おねじよはお子さん自身も自信がなくなり、不安なものです(私も6年生までおねじよしておりました。)。ぜひご相談ください、お子さんと一緒に立ち向かって欲しいと思いま

す。■聞きづらいオシッコの症状は専門医に相談■

小児ガンや奇形、諸々の機能異常など、お子さんにも難病はみられるものですが、成長期の病気は意外と少ないものです。生活習慣をうまくすることで、ほとんどのお子さんには問題なく成長していくと思えます。苦痛や不安なく、楽しい毎日を送って立派な大人になってほしいですね。あまり人に聞きづらいオシッコの症状は、専門の泌尿器科の先生に相談してくださいね。

当院では、メール相談も受け付けております。最近はやまの普及で写真も送りやすくなっていますね。触られることがいやなお子さんも多いです。写真を見せてもらうだけでコメントすることもできます。ご活用ください。